

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



平成24年6月4日（月）～6月10日（日）〔平成24年第23週〕の感染症発生状況

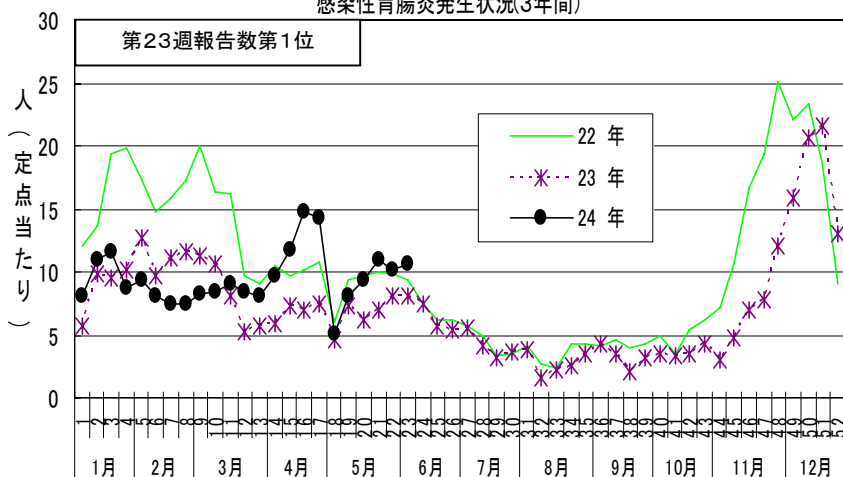
第23週で患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)水痘でした。

感染性胃腸炎は定点当たり10.59人と前週（10.21）より患者報告数はやや増加しましたが、例年に比べ高いレベルでの推移となっています。

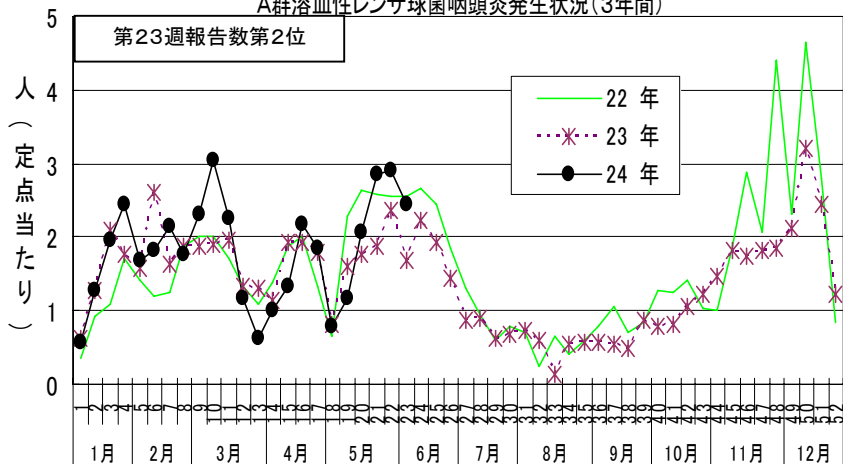
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり2.44人と前週（2.91）より患者報告数は減少していますが、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

腸管出血性大腸菌感染症の届出が1件（推定感染経路：接触感染、推定感染地域：川崎市）ありました。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



～今から注意！！咽頭結膜熱（プール熱）～

これから楽しいプールが始まる時期です。プールでの感染が多くみられる咽頭結膜熱（プール熱）は、7月8月をピークに小児（特に5歳以下）を中心に流行します。今後、咽頭結膜熱の患者が増加する兆しがありますので、次のことに注意しましょう。

症状は？

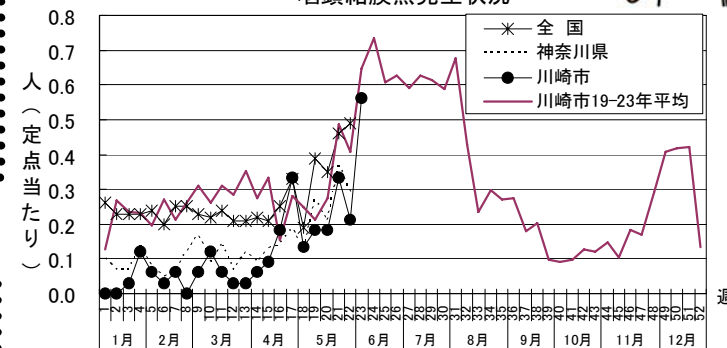
潜伏期間（5～7日）を経過した後に、39℃前後の発熱・咽頭炎・結膜炎等を発症します。また、その他に頭痛、食欲不振、全身倦怠感等が3～5日間程度持続します。

感染経路は？

プールでの感染は、ウイルスに汚染された水が直接目に入ることが原因と考えられています。また、プールでタオルを感染者と共用することで感染することもあります。

その他にも、患者からのくしゃみや咳などのしぶきによる飛沫感染、手指を介した接触感染が考えられています。

咽頭結膜熱発生状況



気をつけたいこと！！

感染者との接触を避け、流行時にはうがいや手洗いを心がけましょう。また、水泳時には水中眼鏡を着用し、水泳前後にシャワーを使用するとともに、タオルの共用は控えましょう。

